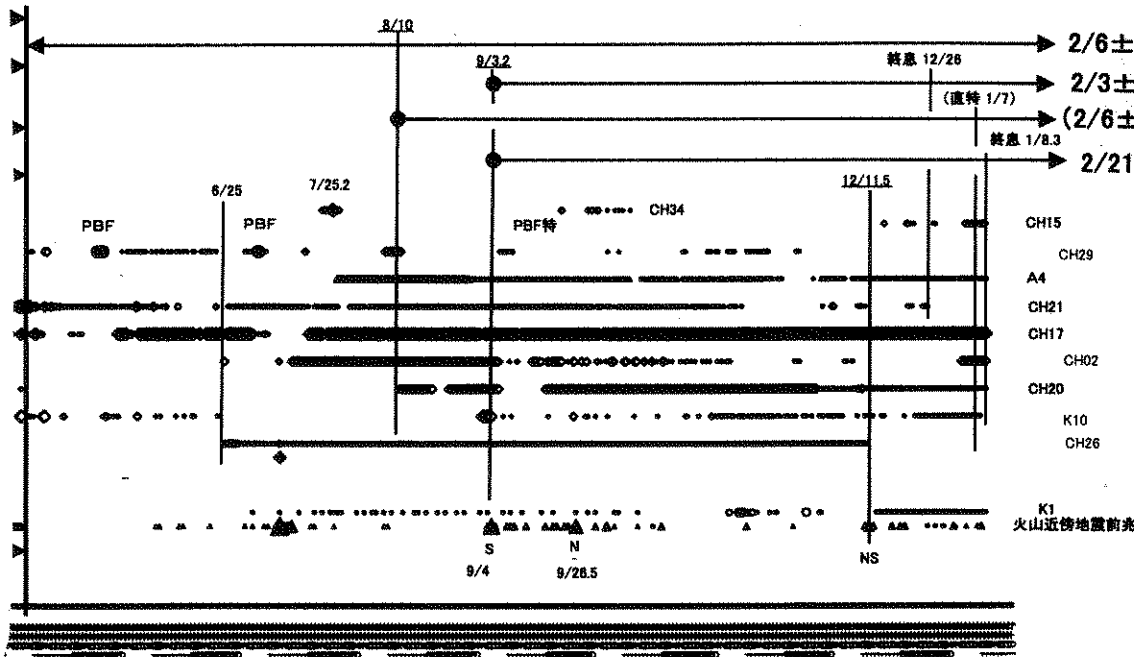


原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778長期継続特殊前兆続報 2月初旬以降の可能性



2017年5月 2017年6月 2017年7月 2017年8月 2017年9月 2017年10月 2017年11月 2017年12月 2018年1月

2008年07月から継続する観測歴上最長継続特殊前兆 No.1778の続報です。

現在第24ステージ認識ですが、前情報段階では、少なくとも1/12以降の可能性としました。

前兆の動向から、1/16±の可能性も否定できなかったためです。

E-mailまたはFAXで配信している地震前兆検知観測情報では、1/3 配信No.2971で、02月の可能性が示唆されることを報告致しましたが、HPでは遅くなりましたことお詫び申し上げます。

本日現在も前兆継続が認められます。左図のとおり2/6±の可能性も否定はできませんが、K10の特異前兆が1/8.3に終息しておりこのまま静穏化する場合は2/21±の可能性も示唆される状況です。

少なくとも02月初旬以降の可能性となり、今後の前兆変化を鑑みて、続報でご報告させていただきます。

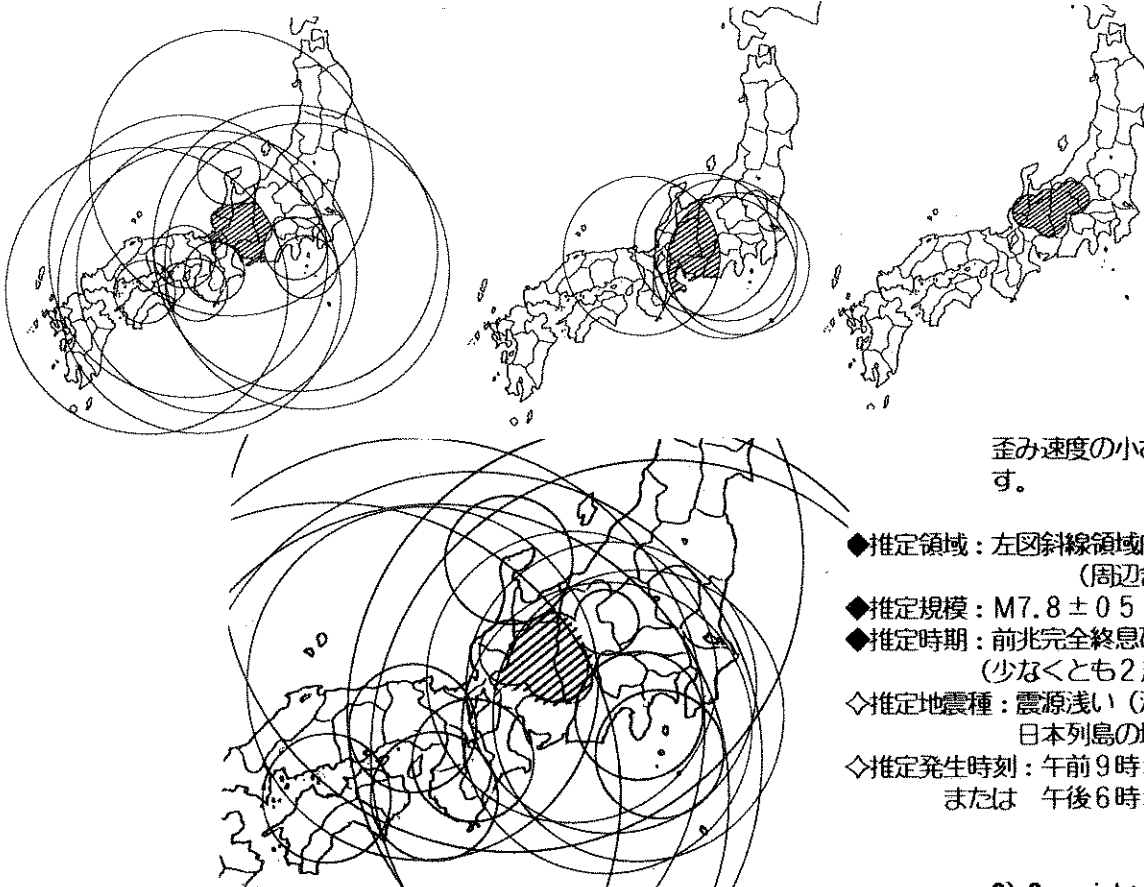
左図は、最近の前兆からの領域推定再作業結果です。各前兆から推定される斜線の重複領域は左下図のとおりとなります。(あくまでも火山近傍領域の可能性とした場合) また前兆期間が異常に長いため、めったに地震活動が発生しない領域

歪み速度の小さい領域の可能性が示唆されず。

PBF前兆より

特異前兆より

火山近傍前兆より



- ◆推定領域：左図斜線領域内付近 (周辺含む可能性有)
- ◆推定規模：M7.8±0.5
- ◆推定時期：前兆完全終息確認後計算予定 (少なくとも2月初旬以降)
- ◇推定地震種：震源浅い(深さ20km以内) 日本列島の地殻地震 陸域
- ◇推定発生時刻：午前9時±1時間 または 午後6時±3時間